

## 1.研修プログラムの名称

新生児集中治療室（NICU）研修プログラム

## 2.研修概要（理念・特徴）

区西部地域の周産期医療の中核を担う周産期医療チームの一員として、NICUでの新生児医療に従事する。早産児、新生児呼吸障害、新生児嘔吐、先天性心疾患、新生児仮死、新生児黄疸、染色体異常をはじめとした各種疾患の鑑別と急性期・慢性期管理、新生児蘇生、退院後の外来フォローアップおよび産科チームとの協働について広く学び、小児科診療における新生児医療の特異性と周産期医療に対する理解を深める。

## 3.到達目標

- 1) 周産期医療センターとしての当院の立ち位置を理解し、東京都における役割を説明することができる。
- 2) 産科チームと協働した周産期医療の実践に必要な基本的診療能力（知識、技能、態度）を身につける。
- 3) 研修期間中に新生児蘇生法インストラクターによる蘇生講習を受講し、実際の分娩立ち会いの中で指導医の監修のもとで主蘇生者として人工呼吸を含めた新生児蘇生を経験する機会をもつ。
- 4) 指導医の監修のもとで、出生した新生児のApgarスコアを適切につけることができる。
- 5) 産科病棟新生児室の正常新生児の診察を通して、正常新生児と病的新生児の違いを理解する。
- 6) 指導医の監修のもとで、軽症の病的新生児の親権者に対するインフォームドコンセントを実施できる。
- 7) MFICU入院中の母体に対するペリネイタルヴィジットに同席し、その重要性を理解する。
- 8) 新生児搬送のための救急車同乗を経験し、安全な救急搬送に必要な要件と適応を理解する。

## 5.指導体制・方略

- ・毎朝8:30に病院7階NICU内の医師室に集合する。
- ・研修開始時に、新生児グループの上級医よりオリエンテーションをおこなう。
- ・NICU研修の指針を渡し、当院NICUにおいて学ぶべき知識、身に着けるべき技能、経験すべき臨床機会を指導医と共有する。
  - ・研修2週目より毎週1症例を担当医として受け持ち、毎週水曜10:30からおこなわれるNICU教授回診で症例のプレゼンテーションをおこなう。
  - ・研修2週目までに新生児蘇生法インストラクターによる蘇生講習を受講する。講習受講後、積極的に分娩に立ち会い、指導医の監修のもとで主蘇生者として新生児蘇生に携わる機会を設ける。
  - ・NICU上級医が担当する発達フォローアップ外来に陪席し、退院後の継続した発達フォローアップの重要性、在宅医療の必要性、訪問看護や訪問診療をはじめとした退院後の支援について学ぶ機会を設ける。
  - ・月2回を目安にNICU夜勤を経験する（夜勤当日は16:30に勤務に入り、翌朝の回診後に帰宅する）。
  - ・新生児の救急搬送に積極的に同乗する機会を設け、院外分娩施設との連携の重要性を学ぶ機会を設ける。
  - ・毎週金曜日の勤務終了時に指導医と研修の振り返りをおこない、次週にむけた準備の機会を設ける。
  - ・研修終了時に、指導医によるPG-EPOC評価をおこなう。

## 6.週間予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
	検査・処置	検査・処置	検査・処置	検査・処置	検査・処置	検査・処置
	新生児回診	新生児回診	10:30 教授回診	新生児回診	新生児回診	新生児回診
午後	発達外来陪席	発達外来陪席	発達外来陪席	救急搬送同乗	発達外来陪席	
	救急搬送同乗	救急搬送同乗	蘇生法講習	16:30 チーム内	(心理外来陪席)	
	16:30 産科との	15:30 神経回診	16:30 チーム内	カンファレンス	救急搬送同乗	
	周産期カンファ	16:30 医局会	カンファレンス		16:30	
	レンス				週の振り返り	

## **7.研修活動**

- ・希望者は、心理外来（発達検査：新版 K式発達検査、BSID-III、WISC-IV）の陪席につくことができる。
- ・積極的な希望者は、胸部超音波検査、気管挿管、人工呼吸器の選択および呼吸器条件の調整などのより高度な臨床手技・技能の取得の補助を受けることができる。また、院内で年2回開催している日本周産期・新生児医学会認定の新生児蘇生法講習会Aコースに招待し、本コースを無料で受講することができる。
- ・さらに積極的な希望者は、日本新生児成育医学会・学術集会または日本周産期・新生児医学会学術集会をはじめとした国内関連学会での学会発表を支援を受けることができる。

## **8.評価**

### 1) 研修医自己評価

患者記録表、教育的行事の参加記録並びに経験記録表に記録する

PG-EPOC を用いて自己評価を行う

研修事後レポートを用いて自己評価を行う

### 2) 指導医による評価

PG-EPOC を用いて評価する

研修事後レポートより評価する

### 3) コメディカルによる評価

PG-EPOC 又は評価表を用いて評価する

他者評価表を用いて評価する

### 4) 研修医による評価

PG-EPOC を用いて指導医（上級医）、診療科・病棟、研修医療機関、プログラムを評価する

## **9.その他特記事項**

なし

## **10.研修中に作成する病歴要約**

（**赤太字**必ず作成する、**太字**可能なかぎり作成する、他 対象疾患を診察したら作成する）

資料3-2に準ずる。